

# 2022年3月期 第3四半期決算説明資料

2022.1.31

テクノホライゾン株式会社  
代表取締役社長 野村拡伸



## 目次

---

1. 2022年3月期（第12期）第3四半期決算概要
2. トピックス
3. Appendix  
事業セグメントの変更について

# 1. 2022年3月期（第12期） 第3四半期決算概要

- 3 -

## （1）2022年3月期第3四半期 損益サマリー

単位：百万円

	2021年 3月期 第3四半期	2022年 3月期 第3四半期	増減	増減率
売上高	15,876	23,475	7,598	47.9%
営業利益	939	315	△623	△66.4%
経常利益	930	430	△500	△53.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	836	△23	△860	-

前年度実績比 増収減益

## 増収要因：

- ・海外での売上が伸長
- ・M & A企業の連結化（範囲拡大）

## 減益要因：

- 売上原価の増加（自然増分除く）  
部品価格の高騰
- 販管費の増加（戦略的投資）
  - ✓ 経常的費用
    - ①積極的な人員採用・拠点整備
    - ②M & A企業の連結化による従業員増
    - ③連結化によるのれんの償却額増加
  - ✓ スポット費用
    - ④M & A手数料等

## ● 最終利益：

合併差益に対する法人税の課税負担が期中に一時増加（簡便法のため）

	国内拠点	海外拠点	人員数	のれん償却額	M&A手数料等
2022年3月期 第3四半期	32拠点	20拠点	1350名	479百万円	331百万円
2021年3月期 第3四半期比	14拠点増	5拠点増	222名増	286百万円増	194百万円増

- 4 -

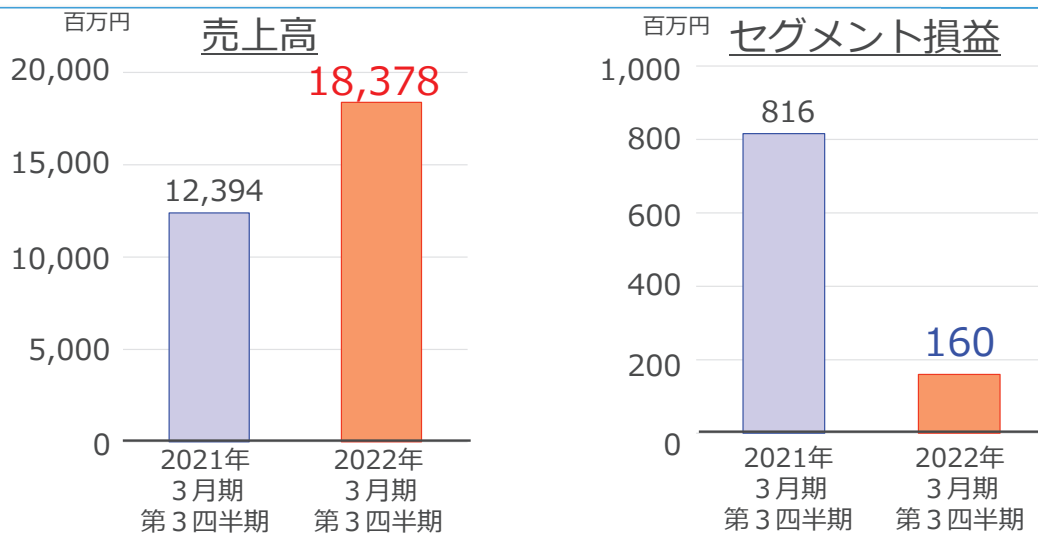
## (2) 事業セグメント別売上高サマリー

単位：百万円

売上高	2021年 3月期 第3四半期	2022年 3月期 第3四半期	増減	増減率
映像&IT	12,394	18,378	5,984	48.3%
ロボティクス	3,482	5,097	1,614	46.4%
売上合計	15,876	23,475	7,598	47.9%

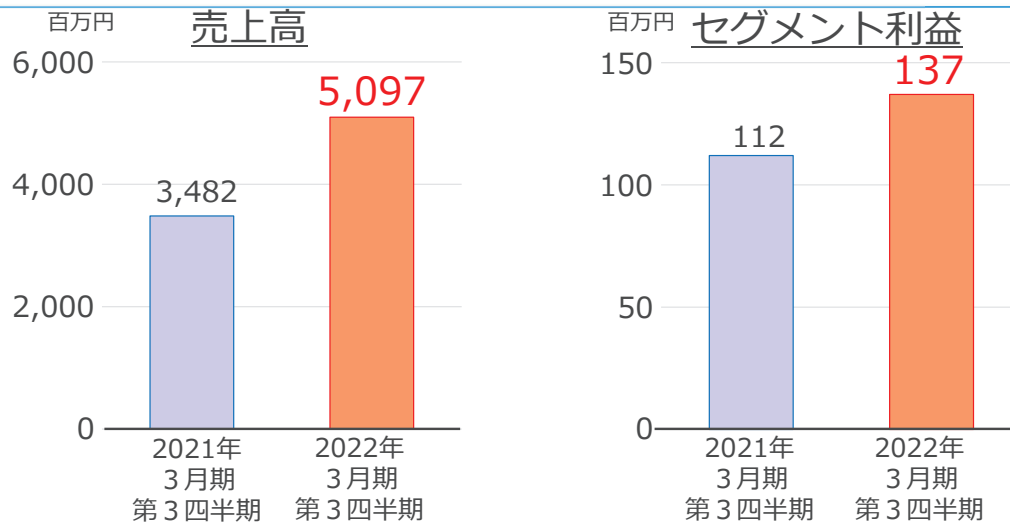
- 5 -

## (3) 映像&IT事業セグメントの損益



- ・教育関連：欧米を中心とした設備需要が堅調、国内は想定下回る
- ・業務用車載器：半導体等電子部品の調達難で予想下回る
- ・シンガポールの子会社グループ（ESCO、パシフィックテックG）の連結化による増収増益効果
- ・成長に向けた積極投資等で①経常的な経費②臨時的な経費で販管費が増加してセグメント利益縮小  
→主に①人員増（連結の範囲変更・積極採用）や拠点整備、のれん償却②M & A手数料

## (4) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ 中国市場は労働力不足から来る自動化・省力化ニーズが高く、販売強化で堅調に推移
- ・ 国内市場は緊急事態宣言の影響による需要減と半導体等電子部品の調達難で想定下回る
- ・ 第2四半期にグループ入りしたアポロ精工株式会社の連結化による増収増益効果
- ・ 第2四半期に実施したM & Aの手数料計上により販管費が増加

## (5) 2022年3月期第3四半期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2021年 3月期末	2022年 3月期 第3四半期末	増減
流動資産	21,378	21,546	+167
固定資産	7,595	10,317	+2,722
<b>資産合計</b>	<b>28,973</b>	<b>31,863</b>	<b>+2,890</b>
流動負債	15,117	17,196	+2,079
固定負債	4,521	5,575	+1,054
<b>負債合計</b>	<b>19,638</b>	<b>22,772</b>	<b>+3,134</b>
株主資本	8,927	8,543	△383
その他の包括利益累計額	408	547	+139
<b>純資産合計</b>	<b>9,335</b>	<b>9,091</b>	<b>△244</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>28,973</b>	<b>31,863</b>	<b>+2,890</b>
自己資本比率	32.2%	28.5%	△3.7pt

## 【流動資産】

- ・ 現金及び預金：△4,202百万円
- ・ 受取手形及び売掛金：△540百万円
- ・ 在庫：+4,453百万円

## 【固定資産】

- ・ 有形固定資産：+715百万円
- ・ 無形固定資産：+1,967百万円
- ・ 投資その他の資産：+39百万円

## 【流動負債】

- ・ 支払手形及び買掛金：+1,397百万円
- ・ 短期借入金：+346百万円

## 【固定負債】

- ・ 長期借入金：+720百万円

## 【純資産合計】

- ・ 利益剰余金：△383百万円
- ・ 為替換算調整勘定：195百万円

## (6) 2022年3月期第3四半期 連結損益計算書①

単位：百万円

科 目	2021年 3月期 第3四半期	2022年 3月期 第3四半期	増減
<b>売上高</b>	<b>15,876</b>	<b>23,475</b>	<b>+7,598</b>
映像&IT事業	12,394	18,378	+5,984
ロボティクス事業	3,482	5,097	+1,614
売上原価	11,075	17,038	+5,962
売上総利益	4,801	6,437	+1,636
販管費	3,861	6,121	+2,259
<b>営業利益</b>	<b>939</b>	<b>315</b>	<b>△623</b>
映像&IT	816	160	△655
ロボティクス	112	137	25
※調整額	11	17	6

- 9 -

## (6) 2022年3月期第3四半期 連結損益計算書②

単位：百万円

科 目	2021年 3月期 第3四半期	2022年 3月期 第3四半期	増減
営業外収益	73	188	+115
営業外費用	82	73	△8
<b>経常利益</b>	<b>930</b>	<b>430</b>	<b>△500</b>
特別利益	148	21	△126
特別損失	3	14	+11
税金等調整前当期純利益	1,075	437	△638
法人税等	239	460	+221
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>836</b>	<b>△23</b>	<b>△860</b>

- 10 -

## (7) 2022年3月期 業績予想 (前期比較) ①

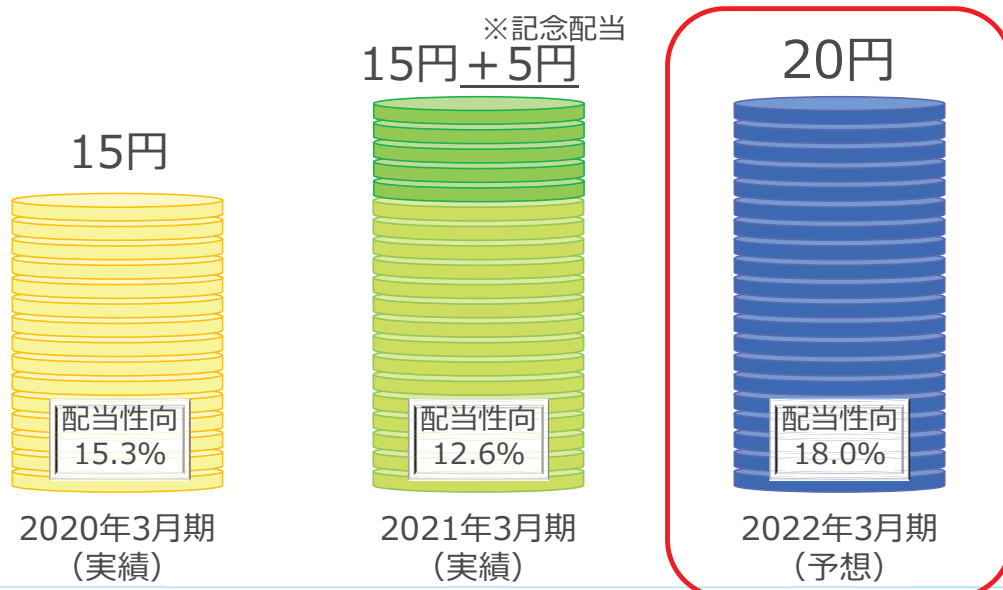
単位：百万円

	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 修正予想	増減	増減率
売上高	26,481	36,500	+10,018	+37.8%
営業利益	2,420	2,000	△420	△17.4%
経常利益	2,533	2,000	△533	△21.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,147	1,500	△647	△30.1%

- 11 -

## (8) 2022年3月期 株主還元

年間配当予想：1株あたり20円



- 12 -

## 2. トピックス

- 13 -

### (1) 東証再編に伴う市場選択

本年4月4日の東証再編に伴う市場選択

#### **スタンダード市場を選択**

企業価値向上に向けた取り組みを継続してまいります。

- 14 -

## (2) 生産性向上ソリューションの展開強化



✓ 会議・ミーティングのDX化



✓ 現場管理のクラウド化



✓ 経営マネジメントソリューション



✓ 経営システム導入支援



✓ 商業オフィス・無人店舗ソリューション



✓ サービスロボット

## (3) 書画カメラ：活用事例紹介による利用促進支援

伝わる、繋がる、新しい専門教育のあり方  
**ACCADEMICA**  
アカデミカ



教員養成課程の先生や学生、教育現場の先生を対象に、教員養成学部での様々な授業形態における実物投影機活用事例集「ACCADEMICA(アカデミカ)」



教員養成学部における  
実物投影機活用事例

教員養成学部における  
実物投影機の活用とICT活用指導力の育成

信州大学教員学部・附属次世代型学習・研究開発センター長 村松 浩幸

オンライン両用型授業での活用

対面・オンラインのハイブリット型授業・

ハイフレックス授業での活用

対面授業での活用

実物投影機・多様な実践を通して

信州大学学際研究開発教育学系 教育学専攻グループ 准教授 尾 乃 花子  
社会科学教育グループ 准教授 藤 野 聖志



## (4) プライベート展示会 (予告)



- 17 -

## 3. Appendix

～事業セグメントの変更について～

- 18 -

## (1) 当社の技術で実現を目指す社会

**豊かな社会**  
Sustainable Society

テクノホライゾングループが目指す「豊かな社会」とは、  
全世界の子どもからお年寄りまでだれ一人として取り残されることなく、  
持続可能な地球環境の中で笑顔で過ごせる社会です。

映像&IT      ロボティクス

私たちは「映像 & IT」と「ロボティクス」技術で  
豊かな社会の実現を目指します。

## (2) 「映像 & IT」「ロボティクス」で切り開く未来

「映像 & IT」と「ロボティクス」技術をを基盤に、  
7つの事業で4つの市場に新たな世界を切り拓く。

教育      安全・生活      医療      FA

学校教育ソリューション事業

マンシビジョン事業

オフィス・経営ソリューション事業

ロボットソリューション事業

セキュリティソリューション事業

医療ソリューション事業

自動車ソリューション事業

### (3) 「映像&IT事業」及び「ロボティクス事業」について

当社は、「教育」「安全・生活」「医療」「FA」の4つの市場に対し、映像&IT技術、ロボティクス技術により、持続可能で豊かな社会を実現するための仕組みやソリューションを提供いたします。

#### 「映像&IT事業」

- 映像機器（光学技術、および画像処理技術）、IT機器・サービス（各種センサーを組み込んだIoT技術、およびクラウドサービス）、さらにこれらを組み合わせ各種製品・サービス・ソリューションの提供※

※ 電子黒板、書画カメラ、セキュリティカメラ、車載用カメラ、経営管理ソフトウェア、画像処理ソフトウェア、他クラウドサービスなど

#### 「ロボティクス事業」

- ロボット工学により自動化、省力化、省人化、最適化で、人々を補助・支援するロボット制御機器の設計・製造・販売

### (4) 重点4市場と7ビジネス領域



## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

## I R 担当窓口

- 役職： 取締役経営企画部長
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： [info@th-grp.jp](mailto:info@th-grp.jp)

TECHNO HORIZON CO., LTD.

風に向かう

TECHNO HORIZON CO., LTD.

**TECHNO HORIZON**  
テクノホライゾン株式会社

**TIETECH**

**ELMO**

**Finefit Design**

**TECHNO HORIZON GROUP**

**ADS**

Knowledge  
Imaging  
Technology **KIT**

**ELMO K-GRANDE**  
CORPORATION

**AIND**  
— AI · Wind —

**ITL\***

**BlueVision**

**ESCO**  
EXCELLENCE DELIVERED

**fine** 株式会社 **ファインシステム**

**Pacific Tech**

**市川ソフトラボラトリー**

**APOLLO**  
APOLLO SEIKO